2021 年度 事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

公益財団法人 橋本財団

< 2021 年度事業概要 >

2021 年度も新型コロナウィルス感染拡大防止のための自粛状況下において、当財団でも海外からの研究員の来日が見通せない状況が続いたり、委託調査事業におけるヒアリングが滞ったりなど、多少の影響はみられた。しかし、例えば助成金交付事業においてはオンラインを活用した活動や感染防止の工夫を凝らした活動が増えるなど、例年以上の応募が集まった。設立から3年目を迎えたソシエタス総合研究所では、専属研究員が5名となり、メインテーマを共生社会とし、移民の社会的統合、貧困に関する調査研究を実施した。海外からのメンバーも増え、テーマに関する諸外国との比較など研究における広がりが進んでいる。また、研究員においては、情報発信事業の中核であるWEBマガジンOpinionsへの投稿などを通じ、積極的にそれぞれの考えについて発信した。今後は、論文の発表に限らず、調査における過程なども含め、広く社会へ伝えることに努めたいと考えている。管理部門においては、調査研究事業に必要な研究倫理規定や情報管理規程の制定を行った。また当財団の主たる財源である資産運用について資産管理運用規程を設け、基本的な考え方や流れなどを整理した。事務所内においては、英語を主言語とするメンバーも増え、やさしい日本語・やさしい英語の使用や、IT通訳機器の試用など、多言語コミュニケーションの方法を模索している。また、今期は代表理事から基本財産として現金2億円と金融商品約13億4,600万円の追加寄付があり、既存の寄付同様にその利息収入を法人の公益事業の事業費及び管理費に充てた。

(1) 事業の実施状況

1. 公益目的事業 公1「助成金交付事業」活動報告及び経過報告

1 2021 年度 福祉助成金(活動・研究)の交付2021 年度福祉助成事業は、2020 年度に募集と選考を行い、以下の 33 団体へ合計 35,128,000 円の助成金交付を行った。

2021 年度(公財)橋本財団福祉助成金 助成対象一覧

◆ 研究助成 (3団体、7,753,000円)

	研究機関	助成内容(期間)	決定額
1	一般社団法人岡山に夜間中学 校をつくる会	自主夜間中学に通う生徒のための e ラーニング教材の整備と運用 (3年)	3,000,000

1

2	NPO法人岡山県国際団体協 議会	ー世界から選ばれる都市"岡山"を目指してー(1年)	3,000,000
3	美作大学・地域生活科学研究 所	介護用アクティブエアーパッドの開発と実証試験 (2年)	1,753,000

◆ 活動助成 (30団体、27,375,000円)

	団体名	助成内容	決定額
1	NPO 法人おかやま入居支援セ ンター	空き家を活用したシェルターの仕組みの構築。様々な困窮者を対象 とした自立支援の機能をもつシェルターの運営と普及。	2,700,000
2	一般社団法人飛島学園	不登校、引きこもりの若者を対象とした離島のフリースクール、宿 泊施設の改修。	2,500,000
3	認定 NPO 法人オリーブの家	DV 虐待被害者・ひとり親貧困家庭の自立支援のためのシェルター 拡充。	2,000,000
4	NPO 法人おかやま UFE	様々な困難を抱え一時的な居住と生活支援を必要とする方へのシェ ルターの運営。	2,000,000
5	渋川ユニバーサルビーチプロ ジェクト	「渋川ユニバーサルビーチプロジェクト」 専用ビーチマットを利用した砂浜のバリアフリー化	2,000,000
6	株式会社ぬか	「なんでそんなんプロジェクト」 アートを通じた人の多様性を受け入れる考え方の普及(展示スペース設置)	1,750,000
7	一般社団法人お互いさま・ま びラボ	被災地からダイバーシティーを目指すまちづくり計画作成事業。	1,500,000
8	百色の未来相談会実行委員会	百色の未来相談会(不登校や引きこもり等、進路選択や学習環境に 困難を抱える当事者を対象にした相談事業)の実施。	1,200,000
9	NPO 法人メンターネット	生活困窮状態にある在留外国人の生活支援と「多文化共生」を可能 とするシェアハウスの運営。	1,000,000
10	NPO 法人オカヤマビューティ サミット	ひとり親の経済的自立に向けたエステティシャン技術取得及び就労 支援事業。	1,000,000
11	一般社団法人 WOLFING	不登校児及び傾向児を対象としたフリースクールの施設(秘密基 地)改修。	1,000,000
12	NPO 法人 東備	第1回「みんなちがって みんないい」岡山福祉映画祭の開催。	1,000,000
13	NPO 法人オレンジハート	真庭市におけるインクルーシブな子どもの居場所、学習支援事業。	700,000
14	NPO 法人吉備たくみ会	外出困難な障がい者やひきこもりの方などが外部とのつながりをも つための自宅作業支援。	700,000
15	NPO法人チャイルドライン おかやま	20年に渡る子ども相談支援事業の報告書を作成。社会発信し、子どもをとりまく環境改善に取り組む。	675,000
16	いろとりどり	発達障害等、特性をもった子ども達の個性を伸ばすための体験学習 事業。	500,000
17	NPO 法人そーる	「コミュニティ再構築継続プロジェクト 2021」 担い手育成による地域共生社会の実現に向けた事業。	500,000
18	NPO 法人子育てサポートもみ の木	インクルーシブな民間学童保育の運営(新たな拠点の整備)。	500,000
19	フード・シェアリング・ジャ パン	フードバンク活動を通じた生活困窮者支援。	500,000
20	一般社団法人はるそら	若年性認知症の本人や家族が相談でき情報を得られる場所の提供。	450,000

21	せとうち難聴者の会	難聴者の社会参加促進のための講座開催。	400,000
22	リアルボイス実行委員会	障がい者を兄弟姉妹に持つ「きょうだい」の本当の想いを伝え、共 有するための発表会・勉強会の開催。	350,000
23	認知症の人と家族の会岡山県 支部・カフェマップ委員会	岡山県認知症カフェネットワークセミナーの開催とカフェ MAP 作 成調査。	350,000
24	岡山県難病団体連絡協議会	難病等疾患を持つ患者及び介護支援者のための介護ケア講座および 交流会事業。	350,000
25	更生保護施設等支援協議会	デイリー食品直接受取りの仕組みと団体の広報活動。	350,000
26	NPO 法人子ども家族生活サポートセンターいとでんわ	離婚後の親子面会交流支援やひとり親家庭の子ども及び親の相談支援事業。	350,000
27	つながろう FUNIN 岡山	不妊治療当事者の心理面の支援を目的とした当事者同士の交流会の 開催、個別カウンセリング事業。	300,000
28	一般社団法人ぱすおん	孤立防止のためのフットケアができる地域サロンの運営。	300,000
29	きらりん (リライト教材によ る活動)	国語教科書のリライト教材による親子での学習活動(外国人親子を 含む)	250,000
30	レインボーメイト津山	視覚障害者を中心としたタンデムバイクによるアクティビティ活 動。	200,000

上記採択団体のうち、以下の4団体より、辞退・変更申請があり、事務局にて審議のうえ受理した。

- ▶ いろとりどり …「辞退」:活動場所の確保困難等、団体の存続自体が難しくなったため。
- ➤ NPO 法人東備 …「辞退」:感染症終息の見通しがつかないため。
- ▶ 株式会社ぬか …「1年延長」:感染症の影響で改修の進行が遅れているため。
- ➤ NPO 法人メンターネット …「変更」:感染症の影響を鑑み、シェアハウスよりもオンライン日本 語教室へ注力したい。
- 2 2022 年度 福祉助成金 (活動) の募集、選考 2022 年度の福祉助成金について、募集、選考を以下の通り行った。

① 募集概要

	活動助成	研究助成	
募集期間 2021年9月1日 (水) 9時~10月31日 (日) 1		日(日)17時	
助成額 1件あたり300万円まで			
助成対象期間	2022年4月1日~2023年3月31日		
	(研究助成は、長期の場合3年程度を目途に複数年助成有)		
募集対象等 ※参照 財団WEBサイト「2022福祉助成募集要項」			

② 応募状況

	活動助成	研究助成
応募数	61件	10件

③ 選考結果 採択団体は以下一覧の通り

	活動助成	研究助成
採択数(採択率)	41件 (67%)	4件 (40%)
助成額	33,000,000円	7,690,000円

④ 2021年度 選考について

(1)活動助成の部

① 選考委員会について

·開催日:第1回 2022年1月17日 9:30-16:30、第2回 2022年1月24日 9:30-16:30

・場 所:橋本財団事務所会議室(岡山市北区野田3丁目1-18)

·司会進行:事務局

・選考委員: 3名 外部有識者

② 選考方法について

以下の3段階で選考を行った。

- 1.各委員による事前評価
 - ① 採点(基本評価+プラス評価+マイナス評価)
 - ② 助成額
- 2.1日目 各委員の採点結果をもとに1件ずつ検討、全体の順位付け決定
- 3.2日目 事務局の予算をベースに、線引き、額の決定

なお、申請額の満額を助成しない場合については、新たに使途を事務局で確認し、問題がなければ最終決定とした。(例:申請額100万→決定50万の場合の使途)

- ※ 評価点については、以下を基準に採点を行い、3名の委員の合計点を得点とした。
 - ① 基本評価 (5点満点)
 - ・対象者が明確等、募集の趣旨に合っている
 - ・対象とする社会課題の困窮度・緊急度が高い
 - ・しっかり計画が立てられており、実現可能性が高い
 - ② プラス評価 (プラス1点orプラス2点)
 - ・ある分野の支援において、希少性が高い
 - ・積極的に寄付を集める等、自立に向けた努力がみられる
 - ・今までにない新しい取り組みを行っている
 - ③ マイナス評価 (マイナス1点orマイナス2点)
 - ・団体や事業の継続性に不安がある
 - ・申請書類の精度が低い等、団体への信頼度が低い
 - → 全体における平均は33点、最高は47点、最低は19点。
- ② 選考の結果について

上記の通りの選考にて、41団体へ33,000,000円の助成案が決定した。

※選考の傾向について

・2022年度助成は、従来の広く福祉活動を対象とした一般枠に加え、新たに特別枠①相談支援・ソーシャルワーク活動、特別枠②岡山に住む外国人の支援活動の募集を行った。特別枠①への応募は13件うち10件を採択、特別枠②へは応募のあった6件すべてを採択とした。外国人の支援団体については、岡山ではまだその数は少ない。この助成応募を機にあらたに設立された団体などもあり、今後の活動の広がりに期待したい。2022年度は、前年度に引き続き、生活困窮者やDV等の被害者を対象とした民間シェルター(緊急保護、一時居住生活支援事業)や、不登校・引きこもりの児童生徒を対象としたフリースクールへの支援団体が多く採択された。いずれも、その必要性は高いが具体的な公的支援がなく自主事業として運営されており、当助成の対象としてふさわしいが、いつまで民間助成団体が支えるべきなのか疑問視する声もあり、いずれは行政への引継ぎへ向けた検討も始めるべきとの意見もあった。(→次年度は、フリースクールに関する実態調査を行う。)そのほかには、過疎地域における小規模多機能自治団体からの応募も増え、財団として運営費は妥当ではないが、備品購入などの補助での支援がよいのではないかという考えから採択を決めた。

(2) 研究助成の部

① 選考委員会について

·開催日:2022年1月28日 13:00-14:40

・場 所:オンライン開催/橋本財団 事務所 会議室(岡山市北区野田3丁目1-18)

・司会進行:事務局

・選考委員:3名 外部有識者

② 選考方法について

以下の3段階で選考を行った。

- 1.各委員による事前評価:審査基準を参考に優秀研究3件を選考
- 2.各委員の選考した優秀研究より順に各研究について、各委員の評価結果をもとに検討
- 3.事務局の予算をベースに全体を見直し、優秀研究を再選考

なお、研究の実施につき一部確認事項があり、確認後、再度審査委員に採択について了承を 得るというステップを行った。

*審査基準では、研究の意義、研究の独創性、研究の目的、研究の方法、過去の研究履歴、研究 費用、その他の7分野について評点ポイントを設定している。

審査会においては、現場へのインパクトの大きさ(実態調査であり、社会への活動に貢献するもの)、必要性はあるもののこれまで取り組みの少ない希少価値があるもの、他資金の獲得が困難であるもの、さらにCovid19下で実行可能な取り組みといった視点が審査基準に加え検討

された。

③ 選考の結果

上記の通りの選考にて、4件 7,690,000円の助成案が決定した。

*採択の傾向について

研究者と実践家が協同し、現場の実践をベースとし、実践に役立つ成果をあげるために課題を明確にした実践的課題研究であることを採択の最重要基準とし、希少な現場の実践データを扱った研究、全国で取り組みの少ない研究、実践の場に大きなインパクトが期待できる研究が採択された。また、Covid19下、確実に遂行可能な研究計画も採択基準として考慮された。費用について、研究の基礎的な備品(パソコンや統計ソフト等)は、基本的に大学所属者は認めない、NPO等実践団体については認めた。

3 福祉助成金周知のための活動

行政や他助成団体との合同資金説明等へ参加した(今年度はオンラインでの説明会なども開催された)。助成事業に関する様々な情報共有など、他助成団体とのより一層の連携に繋がった。

4 助成団体の訪問や活動など、フォローアップ等の活動 助成活動の遂行状況確認のため、団体への訪問などフォローアップを行った。 2020 年度活動助成については、すべての団体からの成果報告書をホームページにて紹介した。 これは、2021 年度以降についても同様に行っていく。

2. 公益目的事業 公2「情報発信事業」活動報告及び経過報告

1. WEB マガジン Opinions の運営

2021年度は、情報発信事業として独自に運営する「web マガジン Opinions」に 98本の記事を掲載した。「書きたい人のための web マガジン」というコンセプトの基、初めて寄稿募集の広告をFacebook 等に掲出したことにより、多くの応募があり、新たなライターによる記事の掲載につながった。カテゴリとしては、医療・社会福祉・政治社会・国際問題・経済・教育・多様性などのテーマについて、幅広い意見が寄せられている。また、当財団のソシエタス総合研究所の研究員の記事も定期的に掲載し、研究についての発信も積極的に行った。

3. 公益目的事業 公3 「調査研究事業」の活動報告及び経過報告

1. ソシエタス総合研究所 研究活動について

2021 年度は、共生社会をテーマとし、移民の社会的統合、貧困に関する以下の調査研究を実施した。

移民の社会統合について

「外国人介護人材の社会的統合に関する調査」

「岡山における南米定住者の異文化適応に関する調査」

「日本における移民女性の妊娠差別」「日本における「多様性」をめぐる社会・心理的変化」 「岡山における南米定住者の異文化適応に関する調査」

については、2021年度で概ね完了している。

貧困について

「岡山市におけるホームレスの実態及び対応策の課題 |

「岡山市におけるホームレスの実態及び対応策の課題」の調査過程で明らかになった携帯電話の重要性の理解と現在の制度では支援できない現状から「生活困窮者への携帯電話提供」をモデル的に実施した。「岡山市におけるホームレスの実態及び対応策の課題」については、2021年度で概ね完了している。「生活困窮者への携帯電話提供」については、住居確保に有効であること、必要とする者が多いため、2022年度は規模を拡大して実施する予定である。

2.委託調査について

岡山大学への委託調査である「富村地域再調査」は、感染症の影響により調査期間を延長、 2022 年度夏頃を報告完了予定としている。

3. 研究所メンバーについて

2021年度は新たに2名のメンバーが加わり、合計5名で研究活動を行った。

- ・主任研究員 井上登紀子 (専門・keyword/高齢者福祉、居住福祉、ソーシャルワーク)
- ・研究員 松田 郁乃 (専門・keyword/貧困、生活困窮者、社会福祉政策・制度)
- ・研究員 アイシェ・ウルグン・ソゼン(専門・keyword/社会心理学、異文化適応、移住)
- ・研究員 秋吉湖音(専門・keyword/強制移住、ジェンダー、移民)
- ·研究員 相川真穂(専門·keyword/社会心理学、抑圧、差別、社会的規範)

2022年度は新たに2名の研究員の採用を予定している。

(2)管理事項の概要

1. 役員等に関する事項

2022年3月31日現在

役 職 氏 名		職業	
理事長	橋本 俊明	(社福)敬友会 理事長、合同会社 HS コーポレーション 会長、 (公財)橋本 財団 理事長	
常務理事 橋本 夕紀子		(公財)橋本財団 常務理事 、合同会社 HS コーポレーション 執行役員	
理事 齋藤 信也		岡山大学学術研究院 保健学域 教授 医師	
理事	田中 共子	岡山大学文学部長、岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 教授	
理事 田中 紀章		岡山大学医学部 名誉教授 医師	
理事	松岡 順治	岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 元 特任教授、岡山 大学病院 緩和支持医療科 医師	

監事 西山 明幸		辻・本郷 税理士法人 税理士	
監事 馬場 幸三		太陽綜合法律事務所 弁護士 弁護士	
評議員 髙木 晶悟		(株)トマト銀行 取締役社長	
評議員	橋本 眞智子	(財)操風会 岡山リハビリテーション病院 医師	
評議員 橋本 陽介		原後綜合法律事務所 弁護士	
評議員 橋本 健二		(特医)自由会 副理事長、(社福)敬友会 副理事長 医師	
評議員 宮島 啓人		(医)洗心堂 宮島医院 院長	
評議員 東 俊宏		(特財医) 協愛会 倉敷シティ病院 院長 医師	
評議員 宗友 良憲		(医) 公仁会 姫路中央病院 名誉院長	
評議員 矢吹 章		臨床心理士・公認心理師 高校カウンセラー	

2. 理事会及び評議員会開催に関する事項

(1) 理事会

本年度における理事会は、次のとおり5回開催した。

1) 開催日時:2021年6月2日(木)17時

開催場所:オンラインシステム(ZOOM)

決議事項:

第1号議案 2020年度決算、事業報告の承認の件

第2号議案 定時評議員会(みなし決議)開催承認の件

報告事項:

報告事項1 理事長の職務の報告について

2) 理事会の決議があったとみなされた日:2021年6月22日(金)

開催場所:書面決議

決議事項:

第1号議案 代表理事(理事長)選定承認の件

第2号議案 常務理事選定承認の件

3) 理事会の決議があったとみなされた日:2021年11月30日(火)

開催場所:書面決議

決議事項:

第1号議案 寄付金受入れ承認の件

第2号議案 2022 年度福祉助成選考委員承認の件

第3号議案 内部規程制定承認の件

・研究倫理規定

· 情報管理規程

4) 理事会の決議があったとみなされた日:2021年12月30日(木)

開催場所:書面決議

決議事項:

第1号議案 2021年11月30日付寄付受入れ決議変更承認の件

5) 開催日時::2022年2月17日(木)

開催場所:オンライン会議(ZOOM)

決議事項:

第1号議案 2022年度福祉助成選考結果承認の件

第2号議案 2022年度事業計画・予算承認の件

第3号議案 資産管理運用規程制定承認の件

第4号議案 評議員会開催 (オンライン会議: ZOOM) 承認の件

報告事項:

報告事項1 理事長の職務の報告について

報告事項2 常務理事の職務の報告について

(2) 評議員会

本年度における評議員会は、次のとおり2回開催した。

1) 開催日時::2021年6月17日(木)

開催場所:オンライン会議 (ZOOM)

決議事項:

第1号議案 2020年度決算及び事業報告承認の件

第2号議案 理事改選承認の件

第3号議案 監事改選承認の件

第4号議案 評議員改選承認の件

報告事項:

報告事項1 理事長の職務の報告について

2) 開催日時::2022年3月3日(木)

開催場所:オンライン会議(ZOOM)

決議事項:

第1号議案 2021年度事業計画・予算承認の件

報告事項:

報告事項1 2022 年度福祉助成選考結果ついて

報告事項2 資産管理運用規程の制定について

報告事項3 理事長の職務の報告について

報告事項4 常務理事の職務の報告について

3. 行政庁への申請・届出等に関する事項

申請・届出等 年月日	申請・届出等事項	備考
2021年6月29日	事業報告等の提出	岡山県知事
2022年3月29日	事業計画等の提出	岡山県知事

4. 寄附金に関する事項

寄附日	寄附者	寄附の内容	寄附の目的
2021年5月	橋本俊明	金融商品 3つ	基本財産として受け入れ、その運
		約6億4,820万円	用益である利息収入を、公益事業
		※2021 年 5 月現在評価額	の事業費・管理費に充てるため。
2021年5月	橋本俊明	現金 2億円	基本財産として受け入れ、その運
			用益である利息収入を、公益事業
			の事業費・管理費に充てるため。
2021年11月	橋本俊明	金融商品 3つ	基本財産として受け入れ、その運
		約6億9,770万円	用益である利息収入を、助成金交
		※2021 年 12 月現在評価額	付事業の助成金に充てるため。

5. 行政庁指示に関する事項

2022年2月28日(月)財団設立後初となる岡山県(岡山県保健福祉部保健福祉課指導監査室)による立入検査が行われた。その結果、適切に運営されおり、特段の指摘事項は無いとの報告を受けた。